

様式 2

令和 6 年度 第 3 回 釜石警察署協議会開催概要			
日時	令和 6 年 1 2 月 1 8 日 (水) 午前 1 0 時 3 0 分～午前 1 1 時 3 0 分		
場所	釜石警察署 会議室		
出席者	協議会委員 7 名、警察署長以下 9 名		
報道	なし	傍聴者	なし
議事概要			
1 主な議事内容			
(1) アンケート結果の報告			
副署長より、事前に各委員宛に実施したアンケートの結果を報告した。			
(2) 諮問事項「特殊詐欺の被害防止対策」に関する意見交換			
[委員]			
私は県警の Y o u T u b e チャンネルを登録して視聴しているが、再生回数が断トツに多いのは実物の特殊詐欺犯人が話す電話の音声のものだった。			
一般人も特殊詐欺の実態がどういうものなのかを知りたがっていると思う。			
[委員]			
私が住む地区では、民生委員が企画して地域住民を招いて開催している「お茶っこ会」に地域警察官を招いて講話をしてもらったことがある。			
また、勤務先の大槌学園の 3 年生 (小 3) は、大槌交番に伺って校外学習をさせてもらった。			
いずれも警察官から直接教えてもらうのは効果的だと感じた。			
[委員]			
私を含む高齢者はテレビから情報を得ることが多いが、若者を対象とした広報としてインターネットを利用したものはどの程度実施しているのか。			
【生活安全課長回答】			
Y o u T u b e や S N S の更新頻度の詳細は把握していないが、更新頻度や内容については拡大の余地はあると感じているので、今後の検討課題としたい。			
新聞で見た記事では、闇バイト対策として有効と感じる施策もあるようなので、是非若者に届く方法を検討しながら実施していきたい。			
[委員]			
特殊詐欺の被害者の年齢層はどうなっているのか。			
【刑事課長回答】			
特殊詐欺全体では高齢者の被害が多くなっているが、S N S を利用した投資・ロマンス詐欺に関しては、年代を問わず被害に遭う傾向にあり、2 0 ～ 4 0 歳代の被害も多くなっている。			
インターネットや S N S を入口にして、気付いたら被害に遭っていたというケースも多く、全年代を対象とした対策が必要となっている。			

[委員]

若者については、実家や地元で暮らす高校生までは親の監視もあり、ある程度は被害が予防できると思うが、高校卒業以降の被害が懸念される。

高校生年代を対象とした対策はされているのか。

【生活安全課長回答】

警察では高校生以下の若い年代への教育・広報も重視しており、要望があった学校等に出向いて、「情報モラル教室」と銘打ち、インターネットの利用法や個人情報管理の重要性を伝える活動を行っている。

[委員]

釜石署管内で特殊詐欺被害に遭ったケースについて、可能な範囲で具体例を紹介してもらえないか。

【刑事課長回答】

本年認知したケースでは、独居高齢者が架空の債権を騙る葉書をきっかけに、弁護士を名乗る犯人に騙され、長期間にわたって1億円以上を送金してしまった。

テレビなどで特殊詐欺の被害については見聞きしていたたようだが、自分事としては捉えておらず、被害に気付くまでは犯人を疑うこともなかったと聞いている。

金銭を請求する類いの電話やメール、葉書が届いた場合は、独断することなく警察に問い合わせしてほしい。

[委員]

先日、学校行事の代休で平日に自宅にいたところ、勧誘などの電話が多いことに驚いた。

勤務する小学校のある地域では、高齢者を集めて毎週1回体操をする会合を開いているところがあるが、こうした場に警察官が出向いて情報提供することが有効ではないか。

【生活安全課長回答】

警察でも、各地域で開催される会合等に出向いての講話は重視しているが、把握しきれていないものもあると思われるので、情報提供をいただければ積極的に取り組んでいきたい。

[委員]

警察音楽隊によるコンサート広報は年代を問わず有効だと思うが、地元地域で開催してもらうにはどのようにしたらよいか。

【副署長回答】

警察音楽隊に関する問合せの窓口は警察署の警務課となっているので、開催を希望する時期や場所、内容、対象等をお知らせいただきたい。

なお、開催に向けては調整に一定の期間を要するので、開催希望日の数ヶ月前までには連絡をいただきたい。

[委員]

コンビニエンスストアの店員が特殊詐欺被害を防止したという新聞記事を目にする機会が多く、私がよく利用する店舗の店長も客に積極的に声を掛けてくれるなど心強く感じている。

コンビニエンスストア各店舗に対して、警察から指導等はしているのか。

【生活安全課長回答】

コンビニエンスストア店舗において、電子ギフトカードの購入被害を防止していただくケースは多く、警察としても非常に感謝している。

当県警では、対応に店舗によるばらつきが出ないように、全店舗に警察で作成したチェックシートを配布するなどしている。

今後も各店舗や従業員と協力して被害防止に努めていきたい。

[委員]

私が勤務する銀行に実在する行員の名を騙ったSNSやメールが出回っているとの情報があり、より警戒が必要だと感じている。

他にも、各種企業やその社員を騙ったものも多いが、銀行がSNSで直接連絡することは決してないので、無視するようにしてほしい。

今回実施していただいたアンケートは、委員の年代に偏っていると思うので、各年代に絞ったアンケートなどを実施し、それぞれの年代に適した方法を検討すべきではないか。

県警のホームページについては、例えば他県警とフォームを統一するなど省力化を図った上でSNSに注力するなど、どこに力を入れるか選別して取り組むことが重要ではないか。

銀行のATMや窓口では、各種対策が浸透した結果、特殊詐欺の犯人グループからは敬遠されてきているように思うが、その分コンビニや宅配業者に移行しているように思われるので、そちらの方面への対策も強化する必要があるのではないか。

[委員]

新聞やテレビで、警察官を騙って捜査や調査名目でSNSに連絡してくるケースがあると聞いたが、実際に警察官がSNSで直接連絡することはあるのか。

【生活安全課長回答】

警察官が一般人に対してSNSで直接連絡することはないので、このことを市民に知ってもらう必要はあると考えている。

その他にも、総務省を騙って電話利用停止名目で電話を掛けてきたり、クレジットカード会社を騙って情報を入手しようとしたりといった手口もあり、警察官自身にもメール等が届いていることから、より一層注意が必要である。

[委員]

特殊詐欺の手口を知ることが被害防止には必要となってくると思うので、警察官には様々な場面で顔や姿を見せてもらいたいし、市民とのコミュニケーションをより積極的にとってってもらいたい。

【署長回答】

警察官が各地域に飛び込んでいって住民とコミュニケーションすることは、非常に重要であると認識している。

困り事や心配事があれば気軽に警察に問い合わせしてほしいし、行事や会合の情報を寄せていただければ積極的に出向いていきたい。

2 その他

第4回協議会は令和7年2月頃の開催を予定している。



- 次 第
- 1 開会の言葉
 - 2 警察署協議会成立の報告
 - 3 釜石警察署長（三浦正人）挨拶
 - 4 議事「特殊詐欺の被害防止対策」
釜中内容の協議
 - 5 閉会